

# 特集 満一歳

# 太田宿 中山道会館

試行錯誤の  
1年を振り返つて



昨年4月にオープンした「太田宿中山道会館」（以下中山道会館）。指定管理者制度により、NPO法人「宿木」が管理運営をしています。試行錯誤で始まつた中山道会館の1年間の奮闘を振り返りながら、その活動と取り組みなどを紹介します。



蜂屋町 平野清美さんご夫妻

## 利用者からの提言

市内に住んでいながら、初めて来ました。展示コーナーや糸遊庵など、とても興味深い内容でした。ただ、もう一度来るかなと考えると疑問です。もっと活気があるといいですね。

今後は、いかにリピーターや市民を集めるかが課題ですね。実際、この1年どういった活動があったのか、ほとんど知りませんでした。周知も不足しているのではないでしょうか。

素人考えですが、参加型の催しを工夫し定着できるものが必要ですね。定番ですが「宿の市」はどうでしょうか。その内容には独自性が必要で、そこに行かなければ手に入らないものがあるとか。それと、敷地内に花があると雰囲気が明るくなると思います。

いずれにしても、せっかくの施設ですので、美濃加茂市の財産として、活性化され継続していくことを一市民として願っています。

**年間設定5万人**

中山道会館は、昨年の4月15日にオープンし、ようやく満一歳を迎えました。市からの年間運営委託金約1千4百万円をもとにNPO法人「宿木」により、管理運営が始りました。

年間来客数予測は5万人に設定。単年度決算では初年度から黒字決算を出すこと。足らない部分は自主運営の部分で創意工夫し、黒字を増やすことを目標としました。

**18年度来客数8万6千人**

試行錯誤で始まつたこの1年でしたが、2月末日現在の総運営費は約2千6百万円で、支出の不足分はイベント収益

**や物品販売などで補いました。**  
また、3月31日現在の集計で、オープン以来の来客数は約8万6千人となり、当初の設定を上回りました。しかし、初年度はあてになりません。今年からが本当の意味での正念場です。

**今後の事業展開**

中山道会館を新たな観光の拠点としていくために、市として次のことについて、積極的に事業展開していきます。

**◇教育活動の場所として活用**  
江戸時代を中心とした歴史教育や当時の生活や文化を実際に体験する課外授業の場として活用していく

**◇木曽川のPR**  
江戸時代の渡し場としての

**中山道会館の位置付け**

市外からの来場者を増やすことも重要ですが、より多くの市民に訪れてもらうことが最も重要です。市民のための中山道会館として定着するよう努力していきます。

歴史を後世に引き継ぐために、木曽川親水事業を展開し、木曽川周辺を一体的に活用するための周回コースを計画する

**◇中山道の景観保全活動推進**  
中山道会館を出発点として地区を巡る周遊コースを設定し、隠れた魅力をPRする。その中で守るべき施設や景観についての景観保全条例制定に向けた活動を進めしていく



十一月

産業祭  
サテライト会場



十月

おん祭みのかも  
秋の陣



九月

太田宿  
宵まつり



八月

中山道  
夏まつり



七月

太田宿  
宵まつり



六月

キャンドル  
ナイト



五月  
みのかも  
ハモリン祭



四月

中山道会館  
オープン

産業祭のサテ  
ライト会場に、  
昭和村で人気者の、  
の、ものまねト  
ラさんが駆けつ  
けてくれました。